

町政を問う!!

14 議員が質問・提案を

震災復興

地震津波後の生活を守れ

地区防災計画を策定予定



矢野 昭三 議員

あらかじめ検討する予定。

問 地震津波が沈静した後、一時的に住民生活を守るための木造施設（平時は別用途で利用可能）を建設するか問う。

答 松本 情報防災課長

地震津波沈静後の復興計画を事前に準備しておくことは非常に大切なことと考えている。今年の7月から8月にかけて、消防団管轄区単位で地区防災計画策定の説明会を開催し、26年度から27年度に計画を策定予定。被災後の復興のあり方についても地区ごとに

漁業政策

カツオ漁獲量減の
対策は
厳しい状況を
国へ訴える

問 カツオの漁獲量が極端に少ない。産卵海域においてとり過ぎているとの情報がある。事実であるとすれば何らかの行動を起こす必要があるが、どのように取り組むか。また、沿岸域の漁業振興には漁礁が有効と考えるが、強く要望しているか問う。

答 浜田 海洋森林課長

今年には特にカツオが少なくなっている。このように資源枯渇が危惧されるカツオについて、資源保護措置の実行を今後国に強く訴える方針。また、県、漁協、関係団体と

共に国へ厳しい状況を反映した評価が得られるように要求していく。

漁礁については、燃料の高騰を受け、その必要性を認め、県水産振興部、県議会へも要望を重ねているが、今のところ回答はない。漁家の実情を踏まえ、粘り強い要望活動をしていく。

林業対策

木質資源の
活用を図れ
検討を進める

問 石炭、重油等に大きく依存した生活から脱却し、木材等を活用した温室ガス対策に取り組むか。

答 また、未利用木質資源を活用した発電所を建設し、様々な住民要望に応えるか。

更に農業経営に係る木質暖房器の導入を促進し、経費削減により可処分所得の向上を図ることが急がれているが、まずそういった設備を農業公社へ設置し、その効果を確認

するか問う。

答 大西町長

地球環境を守る生活スタイルの定着、再生可能エネルギー供給施設の整備を目指すことを町振興計画に示している。また宿毛のバイオマス発電への木材供給を行い、雇用、温室ガス対策に取り組む。

町内へ発電所建設をすすめることについては、町内での木材供給能力を整え、更に安定した買い取り価格が必要と考えているが、いまだ価格が未定のため、早く決定されるよう要望している。

農業公社への木質ペレットボイラーなどの先進的な試験も兼ねた取り組みは必要と考えているが、今後の動向を見ながら設置について検討する。

